

第4回日本糖尿病理学療法学会症例報告学術集会

ご挨拶

第4回日本糖尿病理学療法学会症例報告学術集会
集会長 片田 圭一（石川県立中央病院）

このたび、平成31年3月17日（日）に、IT ビジネスプラザ武蔵（石川県金沢市）において第4回日本糖尿病理学療法学会症例報告学術集会を開催させていただきます。

平成28年に神戸で開催された第1回症例報告学術集会から翌年の第2回（神戸）、第3回（幕張）に続き、今回は地方都市金沢での開催になります。

糖尿病や糖尿病に伴う合併症を持つ患者に対して理学療法を行う機会が多くなり糖尿病理学療法が認識されてきています。一方、医療機関から地域での糖尿病治療の継続が課題とされており、同様に地域における理学療法も不十分と言わざるを得ない状況にあります。これからは、地域全体に目を向けた理学療法を含めたチーム保健医療が求められます。

そこで、本学術集会ではテーマを「チーム（保健）医療における糖尿病理学療法の役割～求と担～」とし理学療法士が医療や地域連携チームの一員として担う可能性について症例報告を通じて探りたいと思います。

内容を深く検討するための指定演題や一般演題では、コメンテーターに医師、看護師、管理栄養士、健康運動士をお招きし関連する専門職の立場から提言をいただきます。また、特別講演では健康運動指導士の今井優先生（康生会クリニック）に糖尿病チームでの活動をご紹介いただき糖尿病運動療法をさらに深める企画とします。

日本海の幸、歴史と文化を味わう街、石川の金沢で多くの学びと素晴らしい一時も過ごせることと思います。多くの皆様と金沢でお会いできますことを運営スタッフ一同、心から楽しみにいたしております。